


## 山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名：横岳 (2,829m) (長野県茅野市)	
入山日：2022年12月29-30日 (木-金) 1泊2日 帰宅日：12月30日	
プラン担当者 正： 鈴木 副：	横岳山頂より赤岳 (左) と阿弥陀岳 (右)
参 加 者	L：報：記：鈴木  男 1名、女 名、計 1名
天候	12/29：晴れ 12/30：晴れ 中風
	
12/29 (木)	5：30 自宅発 中央道小淵沢 IC 下車 美濃戸口 9：00 着、9：40 美濃戸口発-10：50 美濃戸- (北沢) -13：10 赤岳鉱泉着 (テント泊)  行動：3h30m
12/30 (金)	05：30 起床-7：00 赤岳鉱泉発-09：20 硫黄岳-10：50 横岳-12：20 行者小屋-12：50 赤岳鉱泉 (テント撤収) 13：10- (北沢) -15：00 美濃戸-15：50 美濃戸口着 中央道にて帰宅  行動：8h50m
荒天候時のエスケープルート： 小屋泊に切り替える。横岳への縦走をやめる。	
装 備 と 食 糧	共同装備：なし 共同食：なし 車提供者：鈴木  個人装備：冬テント、スコップ、シュラフ、エア (銀) マット、ストーブ、(寒冷ガス)、クッカー、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、水、テルモス、帽子 (目出帽)、ゴーグル、ヘルメット、グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、12 アイゼン、サブザック、ツェルト、 個人食：食事×4 プラス予備食、行動食
感 想	12/29：登山口から道路に冰雪が張り付きスパイク装着し歩行。赤岳鉱泉のテント場はほぼ埋め尽くされ小屋も賑やかそう。アイスクライム場は冷え込みせいで完成させており多くのクライマーが張り付いていた。 12/30：息を切らし赤岩の頭まで上がると、いきなり硫黄岳の稜線の向こうに横岳、赤岳、阿弥陀岳の雄姿が目飛び込んできた。横岳付近は雪岩のミックスで歩きにくい鎖を頼りに地蔵の頭へ向かった。快晴の中よろけるほどではないが風が強く、バラクラバに加えフードもしっかり被り保温に努めた。2 か月ほど登山をしなかったせいかな年のせいかな、予想以上の疲労がたまり、美濃戸口の建物が見えたときは思わず安堵のため息が漏れた。